## サステナブルカンパニーへのパスポート 全印工連CSR認定制度のご案内

# AJPIA CERTIFICATION SYSTEM



サステナブル — それは、ずっと続くということ。
SDGs 時代に対応する持続可能な経営で、〈強い企業〉をつくる。
それが、全印工連 CSR 認定制度です。

SDGs は、地球も社会も経済活動もすべて持続可能にしようという呼びかけ。 全印工連 CSR 認定制度は、持続可能な企業経営をサポートします。

2030年までの世界共通のゴールを国連が示した SDGs (持続可能な開発目標) は、地球環境、人間社会、経済活動のすべてを、これからもずっと続けていけるようにしようという呼びかけです。世界はいま持続可能性の方向に舵を切り、それにあわせて企業経営のあり方も大きく変わろうとしています。

SDGs 時代に対応するためには、売上を追求するだけでなく、環境問題、働き方改革、情報セキュリティ、社会貢献といった、企業の社会的責任(CSR)をしっかりと果たしていくことが必要です。同時にそのような責任ある企業から調達を進めよう(SR 調達)という動きが、企業だけでなく行政機関にも出始めています。

SDGs 時代を生きる企業の持続可能性をサポートする、日本でも有数の本格的 CSR 認定制度である全印工連 CSR 認定制度を活用して、サステナブルカンパニーへのパスポートを手に入れませんか。





#### CSRの入門編ワンスター。

# 持続的経営に必要な要素を網羅したチェックリストで、まずは自社の"健康診断"。

持続可能な経営を目指して CSR に取り組んでみようと思い立ったら、まずはワンスターチェックリストを入手して、ざっと目を通してみましょう。持続可能な経営に必要な取り組みが「8つの CSR 項目」に分類され、具体的取り組みとして列挙されていますので、自社の強みと弱みが可視化できます。また各項目に対応する SDGs のゴールも示されており、SDGs への対応も容易です。

#### 全印工連 CSR 認定制度 8つの CSR 項目



#### コンプライアンス

法令遵守、知的財産権への対応、 ハラスメントへの対応など



#### 品質

品質関連認証取得、高齢者・障 がい者対応製品、QC活動など



#### 社会貢献・地域志向

社会貢献、地域振興、教育支援、 文化振興、ボランティアなど



#### 環境

GP認定制度·ISO14001等取得、 環境配慮、廃棄物削減など



#### 雇用・労働安全

育児・介護休暇、ワークライフバランス、従業員の健康増進など



#### 情報開示・コミュニケーション

消費者・顧客対応、CSR報告 書発行、CS調査など



#### 情報セキュリティ

P マーク・JPPS 等 取 得 、 個 人 情報保護 、 セキュリティ強化など



#### 財務・業績

健全経営、好業績、予算書作成、 不祥事防止など





## 本格的CSR経営へのステップアップ。

### 日々の業務の中に"持続可能性"を組み込む改革に着手。

ツースターでは、本格的 CSR 経営へのステップアップとして、CSR の"マネジメントシステム"を構築していきます。「システムチェックリスト」に従って、経営理念の策定や書類管理など、マネジメントの仕組みを整え、必要に応じて社内のマニュアルや手順書などを改定し、CSR を組織的に進めていける体制を整えます。

取り組みの評価はワンスターでのチェックリスト方式から、記述式に変わります。ワンスターで可視化された現状に基づいて、強みを伸ばし、弱みを補強するための取り組みを、各 CSR 項目ごとに作っていきます。その際、CSR マネジメントシステムに則って、P(計画)、D(実行)、C(評価)、A(改善)の管理サイクルを回して、取り組みがスパイラルアップしていくように設計します。

認定時の評価は、コンサルタント資格を持った評価員が現地を訪ねて評価します。各取り組みがステークホルダーにとって有用なものであるか、自社の経営にとって効果的なものであるかという観点から採点し、より良い取り組みになるようにアドバイスを受けることもできます。

# ツースター以上にはマネジメントシステム構築が必須。CSR を日常業務に落とし込んで、無理なく、確実に継続できる仕組みづくりを。

CSR の取り組みを社長や特定のスタッフだけがやろうとすると、それぞれの取り組みが単発で終わってしまい、継続が難しくなりがちです。「でも、社員に"仕事以外の"ことをさせられないし…」という声をよく耳にします。 CSR のマネジメントシステムを構築するということは、まさに CSR の取り組みを日常業務にするということです。スタッフのみなさんが"仕事として"取り組むことで無理なく確実に継続できる仕組みが構築できます。





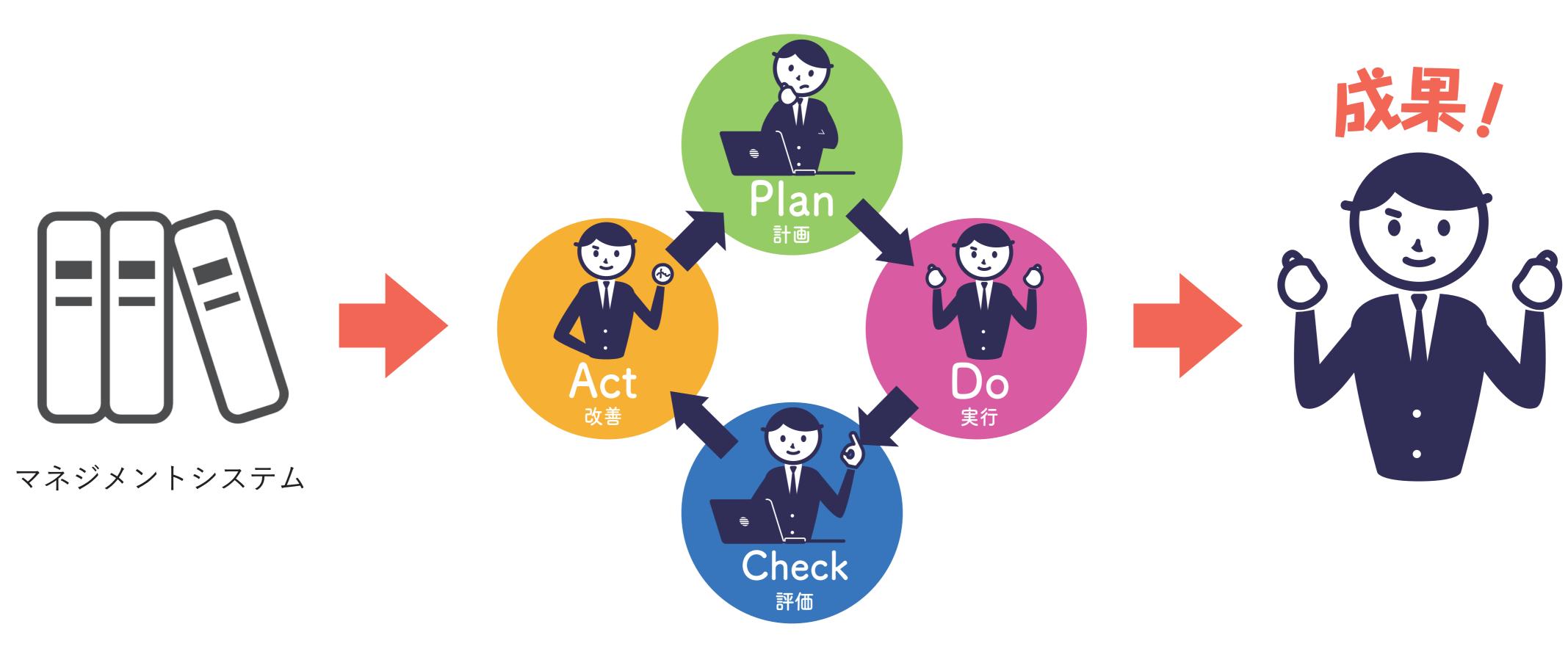


## 日々着実に CSR マネジメントシステムを運用して 成果をあげ、真のサステナブルカンパニーへ。

スリースターでは、ツースターで設定した取り組みが目指す目標をクリアできたかどうか、本当にステークホルダーにも自社の経営にも有用な"三方よし"の取り組みになったかどうか、その成果が評価対象となります。

サステナブルな組織とは、スタッフ一人ひとりがそれほど強く意識しなくても、日々の業務が 自然と持続可能な方向に向かっているというであり、そのような状態を作り上げることが、この 制度のひとつのゴールということができます。

認定取得にあたっては、ツースター同様、評価員のサポートが得られます。CSR を経営の武器として、真のサステナブルカンパニー目指し、スリースター取得に挑戦してみませんか。



# SUSTAINABILITY



#### 申請から認定までの流れ

全印工連事務局に応募申込書を提出

チェックリストなど申請書類の作成

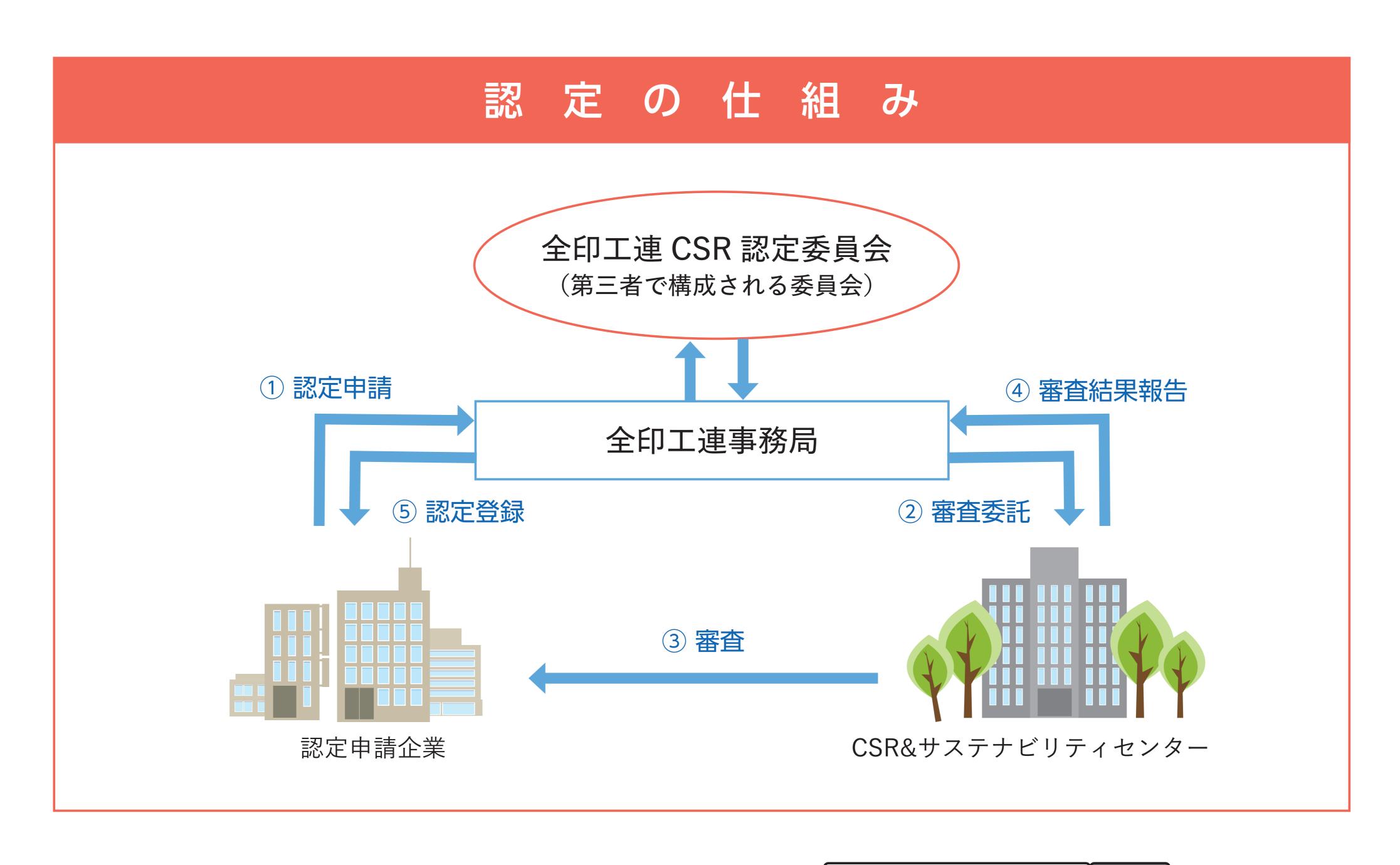
全印工連事務局に申請書類の提出

審査(★:書類審査 ★★、★★★:書類審査+現地審査)

全印工連 CSR 認定委員会による判定

#### 認定

※取得後2年ごとに更新または上位認定に申請



詳細はホームページをご覧ください。

全印工連 CSR

検索

